

日野川環境整備計画



平成 1 3 年度
日 吉 津 村

目 次

日野川環境整備計画	1
1．日吉津村と日野川について	1
2．環境整備計画のテーマ	1
3．環境整備計画のゾーニング	1
環境整備計画のゾーニング図	3
環境整備計画の詳細図	4
現況写真・イメージ図の位置	5
現況写真・イメージ図	6
A 河口部	6
B 河口から国道 431 号方向	7
C 国道 431 号から北方向	8
D 国道 431 号から南方向	9
E 車尾堰から北方向	10
小学生からの日野川環境整備計画案とりまとめ結果	11
日吉津村日野川環境整備計画策定委員会名簿	12

日野川環境整備計画

1. 日吉津村と日野川について

日吉津村は箕蚊屋平野の一角を占め、海浜に開けたまったく起伏がない平坦地で、日野川堤防からは、水田の広がる田園地帯を前景に大山が大きく望める。春には色とりどりのチューリップが咲き乱れ、良好な眺望が開ける。

鳥取県三大河川の一つである日野川は、穏やかな流れと広い河川敷を持つ魅力ある河川であり、日野川右岸には生物の生息域となるワンド池がみられ、小さいながらビオトープ(野生生物の生息空間)の魅力を感じさせる。

2. 環境整備計画のテーマ

日野川環境整備計画は、自然、親水性、生態系等に配慮することを前提に、計画のテーマを次のとおりとする。

- 自然とのふれあい
- 安らぎの空間創出
- 防災強化
- スポーツ振興
- 健康づくり

3. 環境整備計画のゾーニング

計画策定にあたっては、目的毎にゾーニングを行う。それぞれのエリアの特徴を強調しつつ、全体的に調和のとれたゾーニングとする。

なお、計画の詳細については、将来の日吉津村を担っていく日吉津小学校の全校児童を対象に、平成 12 年度の冬休みの宿題として募集した結果を反映させる。

レジャーエリア

日野川河口部は、釣りの絶好のポイントとして有名である。またサーフィン、ウインドサーフィン、春の風物詩である「白魚漁」などで親しまれている。さらに遠く島根半島を望む絶景のポイントでもある。

この日野川河口部をレジャーエリアとして位置付けし、レジャーの振興と防災上の強化のため、導流堤を延長して出水時のスムーズな川の流れを確保すると同時に、侵食により失われた砂浜を復元し、レジャーエリアを拡大する。

また皆生海岸(温泉)と日吉津海岸(温泉)は、近くて遠い位置関係にある。このため自然と景観に配慮した自転車歩行者専用の橋を架け、2つの海岸(温泉)を一体的な散策コースとして結ぶ。

野鳥エリア

河口部に発達した巨大な中州付近には浅瀬が広く、冬になると遠く北方から渡り鳥が数多くやってくる。人々の心をなごませる渡り鳥の姿を大切にするためにも、このエリアは自然のままの姿で後世に伝えたいポイントである。

このため日野川堤防に野鳥観測と憩いの場を提供する東屋を設置する。また中州には野鳥の餌場としてのクリークを設置する。

防災エリア

「災害に強い村づくり」として、出水時、災害発生時には水防の拠点、避難場所、ヘリポートとして利用できる施設を整備し、安心して生活できる地域を創造する。平常時は村民憩いの広場として利用する。環境、景観に配慮した風力発電、太陽光発電を採用し、施設の電力をまかなうものとする。

スポーツエリア

日吉津村内でグラウンドといえば、唯一日吉津小学校のグラウンドである。このため、スポーツ少年団の練習にも支障をきたしている状況であり、また村民の健康づくり、体力増進、スポーツ振興のため、グラウンドの整備が強く望まれている。

このような状況から、広大な日野川河川敷を利用し、野球グラウンド、サッカーグラウンド、ソフトボールグラウンド、ターゲットバードゴルフグラウンド、ゲートボールグラウンド等を整備する。これらグラウンドは天然芝を植生することにより「からだにやさしいグラウンド」とする。また防災エリアの広場とあわせて利用すれば、大規模なスポーツ大会の開催が可能となる。

水辺エリア

国道 431 号皆生大橋から車尾堰にかけては、生物の生息域となるワンド池が数多くみられ、小さいながらビオトープ(野生生物の生息空間)の魅力を感じさせるエリアであり、河川景観、親水性、生態系等に配慮した、うるおいとふれあいがあふれる水辺空間(親水公園)の形成が望まれる。

大河川日野川の中にクリーク、散策道を配置することにより、緑や花の豊かな、昔懐かしい小川の自然を蘇らせ、水辺での遊びを通じて大人と子供がふれあえる場や時を提供する。

クリークは水辺の生態系を保全することを前提に、車尾堰からサイフォンで取水し、自然石の空石積工、魚のかくれがや住みかとなる自然石を低水部に設置する。また「ほたる」の復活や、「ガマ、ショウブ、カンナ、アジサイ」などを植生したり、水辺の生物が観察できるように、散策道としての木道、木橋を整備する。

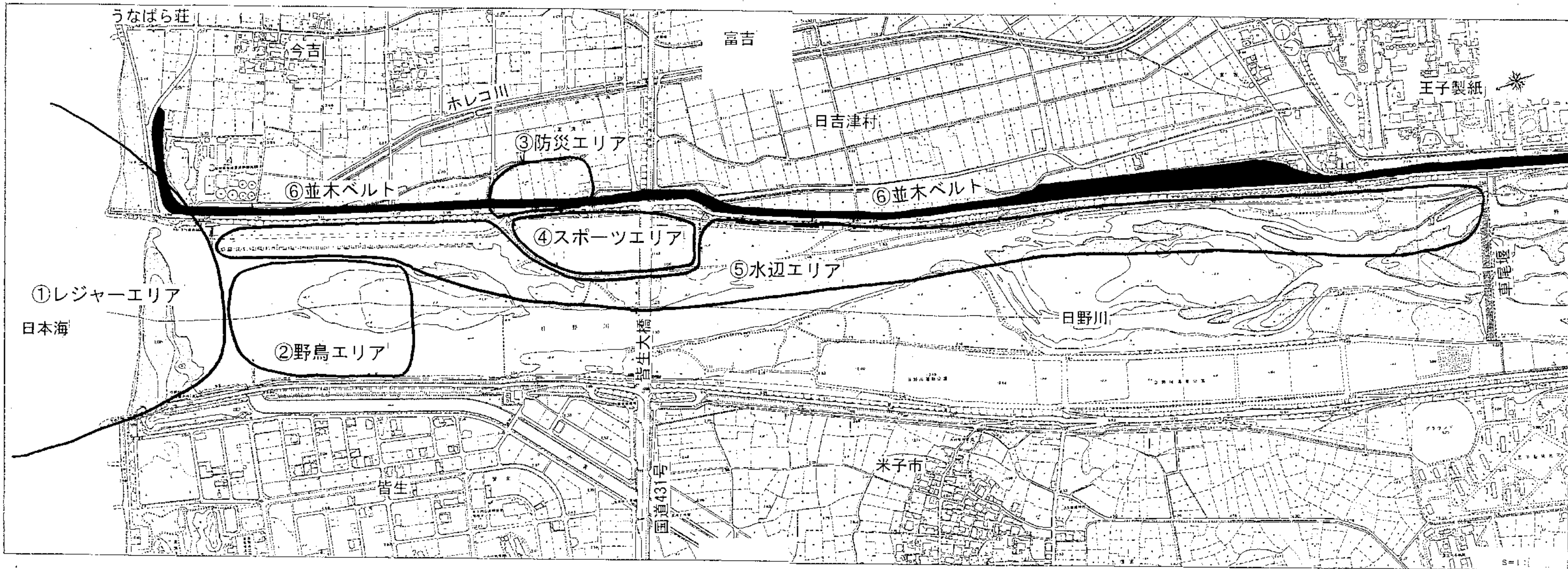
うるおいのある水辺空間の維持のため、ボランティアによる定期的美化活動を行うものとする。

並木ベルト

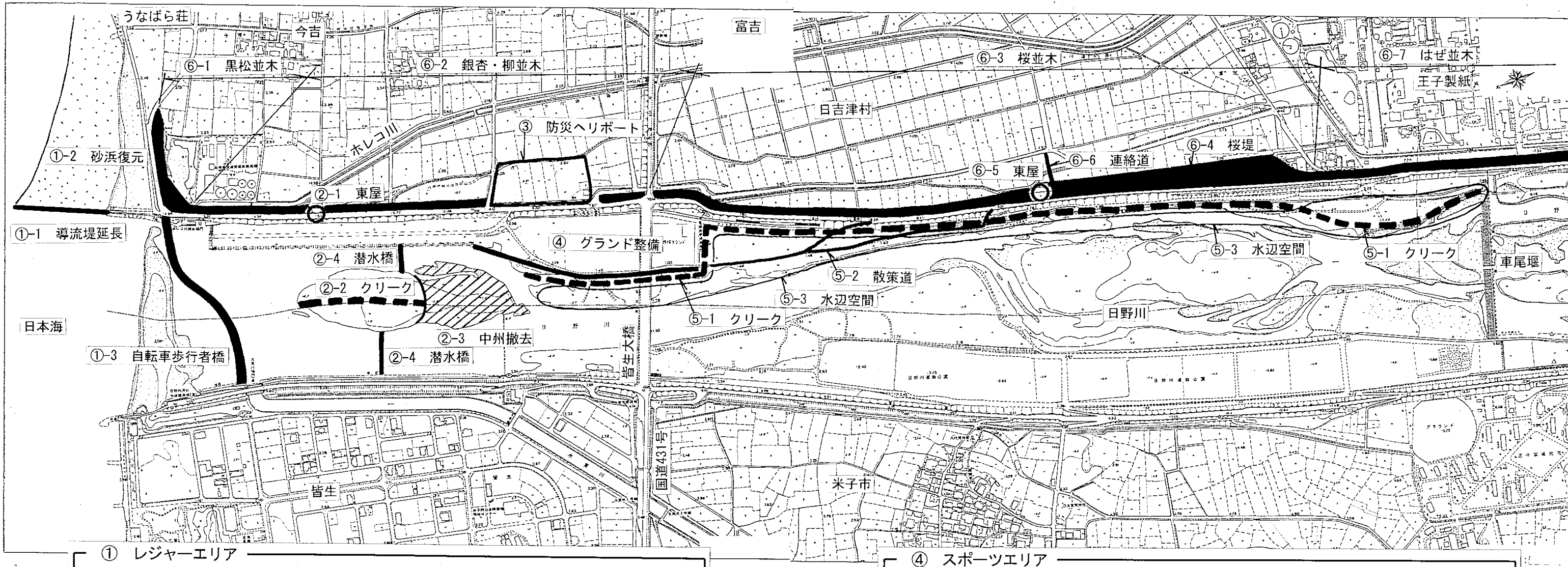
平坦地の日吉津村の中で、唯一の起伏を持つものが、日野川堤防である。日野川堤防からはほとんどのところで大山を望むことが出来、日吉津村の中で最も優れたビューポイント(眺望点)である。

この日野川堤防は「見晴らしの道」として、はぜ、桜、銀杏、柳、黒松などの並木を育て、大山を望む憩いの場(東屋)や水辺へ近づける散策道を整備する。特に王子製紙付近の土手には、県の名木 100 選に登録された「はぜ」の木を植樹し、老木化した木を復活させる。

環境整備計画のゾーニング



環境整備計画の詳細



① レジャーエリア

①-1、①-2 導流堤の延長により、防災強化・レジャー振興・砂浜の復元を図る。
 ①-3 自転車歩行者専用の橋を架橋して、皆生海岸(温泉)と日吉津海岸(温泉)の2つの海岸(温泉)を一体的な散策コースとして結ぶ。照明の電力は、橋に設置した風力発電・太陽光発電によりまかなうものとする。

② 野鳥エリア

②-1 東屋を設置して、野鳥観測と憩いの場を提供する。
 ②-2 野鳥の餌場として、自然石によるクリークを設置する。
 ②-3 防災強化のため、年々拡大している中州を半分程度撤去する。
 ②-4 中州を散策するため、間伐材を利用した木製の潜水橋を設置する。

③ 防災エリア

災害に強い村づくりのため、出水時・災害発生時には、水防の拠点・避難場所・ヘリポートとして利用できる施設を整備する。天然芝の植生により平常時は村民憩いの場・グラウンドとして利用する。環境・景観に配慮した風力発電・太陽光発電を採用して、施設の電力をまかなう。

④ スポーツエリア

村民の健康づくり・体力増進・スポーツの振興のため、野球・サッカー・ソフトボール・ゲートボールグラウンド等を整備する。また天然芝の植生・高木による木陰の創出により、からだにやさしいグラウンドとする。

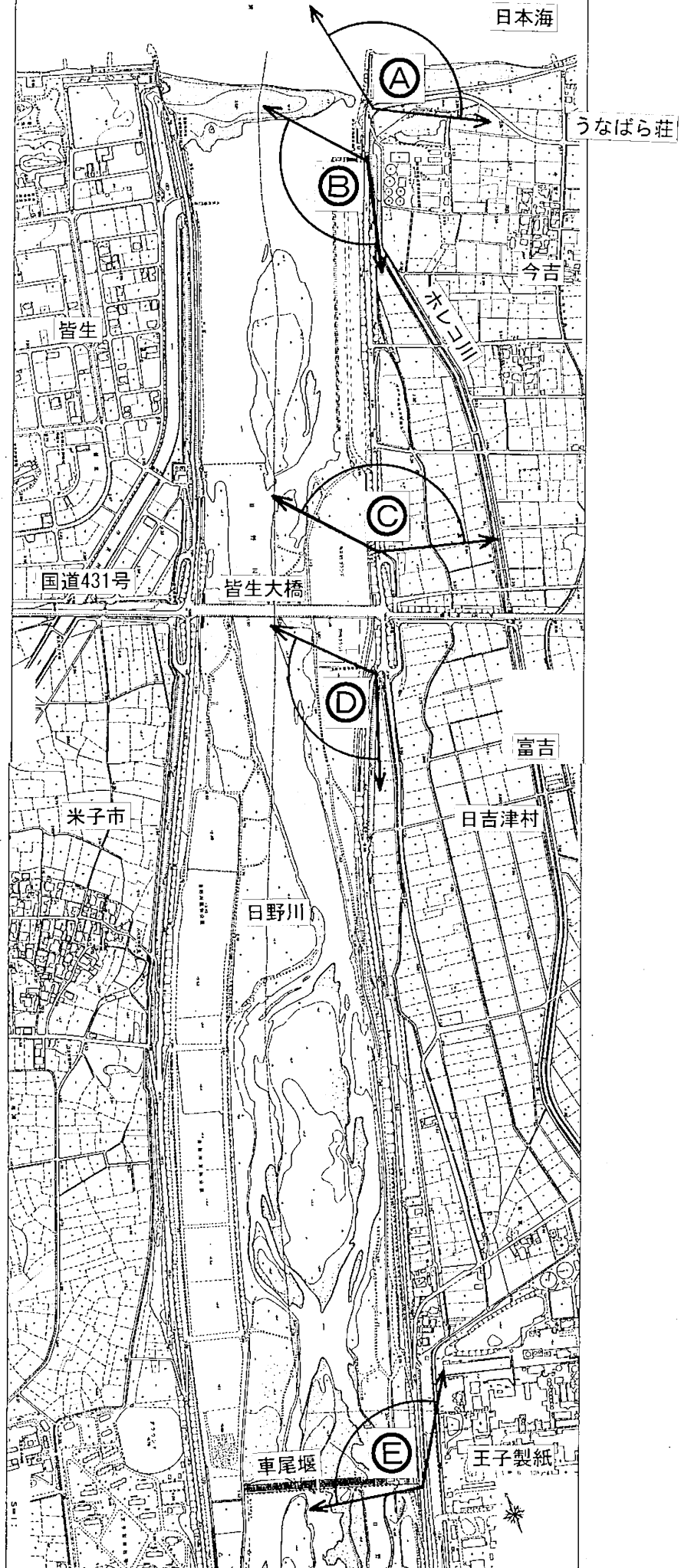
⑤ 水辺エリア

⑤-1 水辺の生態系保全のため、自然石のクリークを設置して、蛍の復活など昔懐かしい小川の自然を蘇らせる。
 ⑤-2 水辺の生物・植物の観察、散策コースとしての散策道を整備する。散策道には木道、木橋も配置して、水辺に親しめる空間を創出する。
 ⑤-3 水辺空間の形成として、ガマ・ショウブ・カンナ・アジサイなどの植生を行ったり、クリークとあわせて蛍の復活を図る。

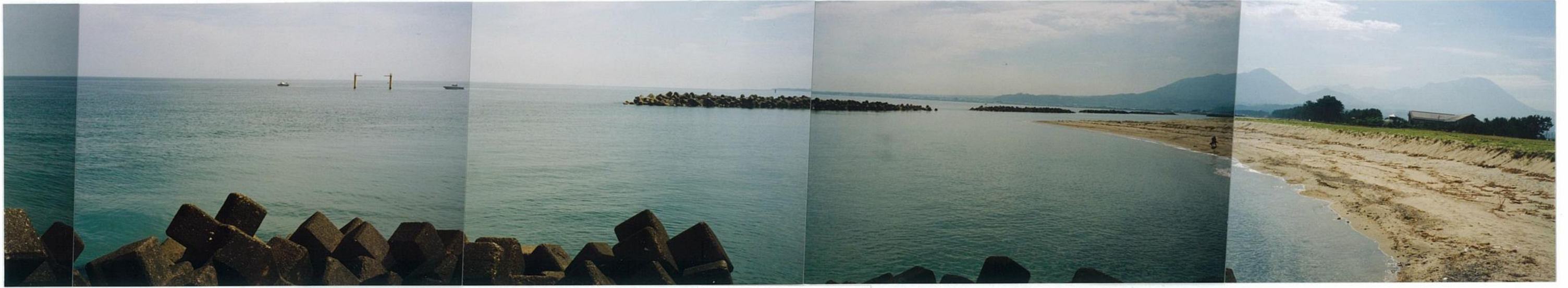
⑥ 並木ベルト

日野川堤防を「見晴らしの道」として並木を育てる。
 ⑥-1 黒松並木 ⑥-2 銀杏・柳並木 ⑥-3 桜並木 ⑥-4 桜堤 ⑥-5 東屋
 ⑥-6 桜堤への連絡道(散策道) ⑥-7 はぜ並木

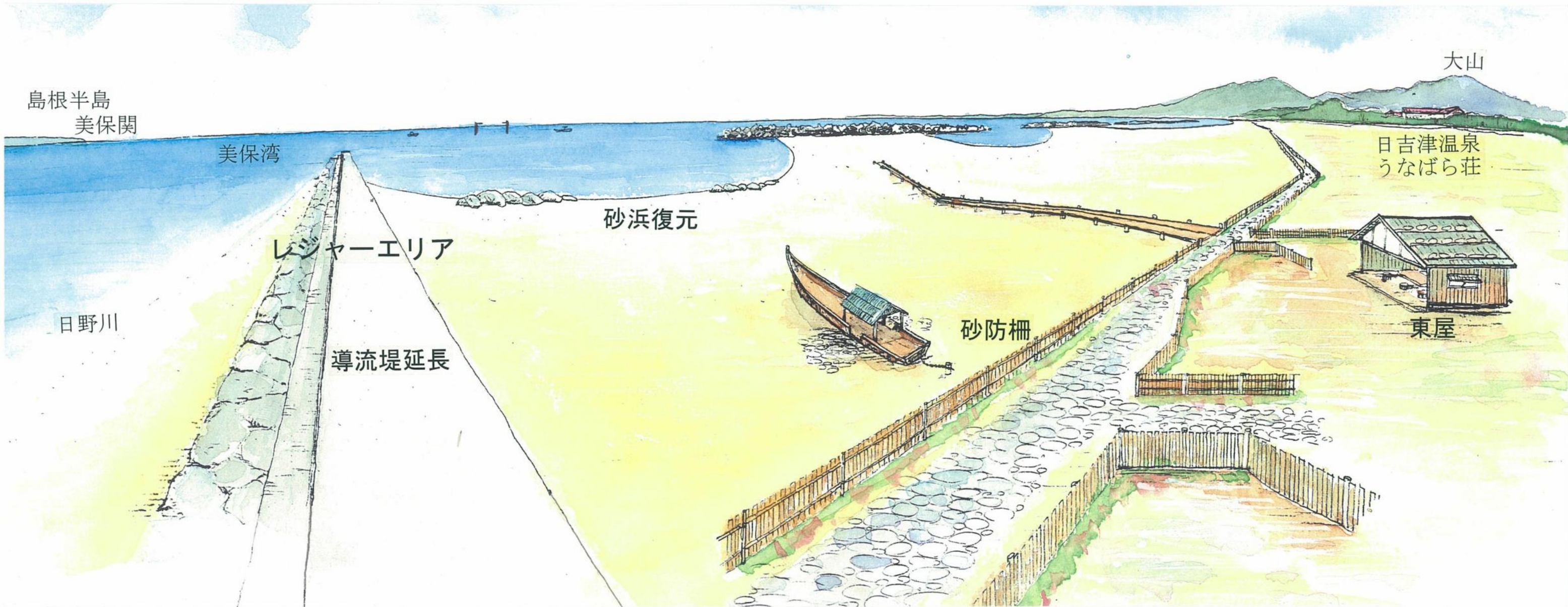
現況写真・イメージ図の位置



A 河口部



現況写真



イメージ図

B 河口から国道431号方向



現況写真

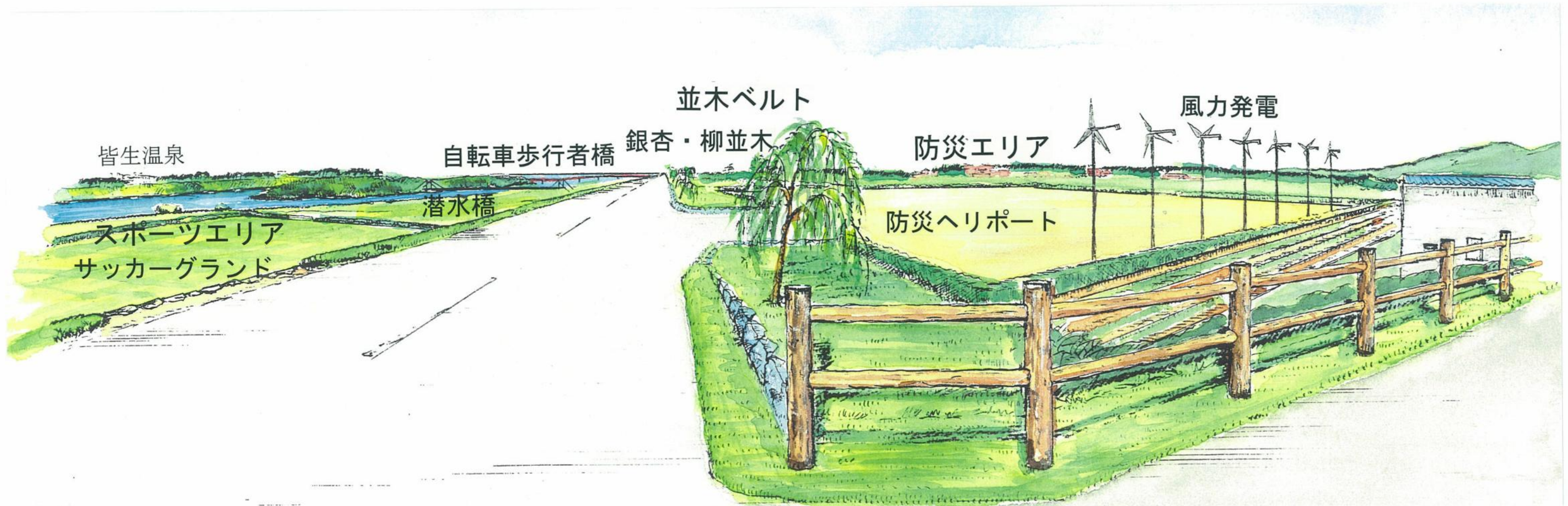


イメージ図

C 国道431号から北方向



現況写真

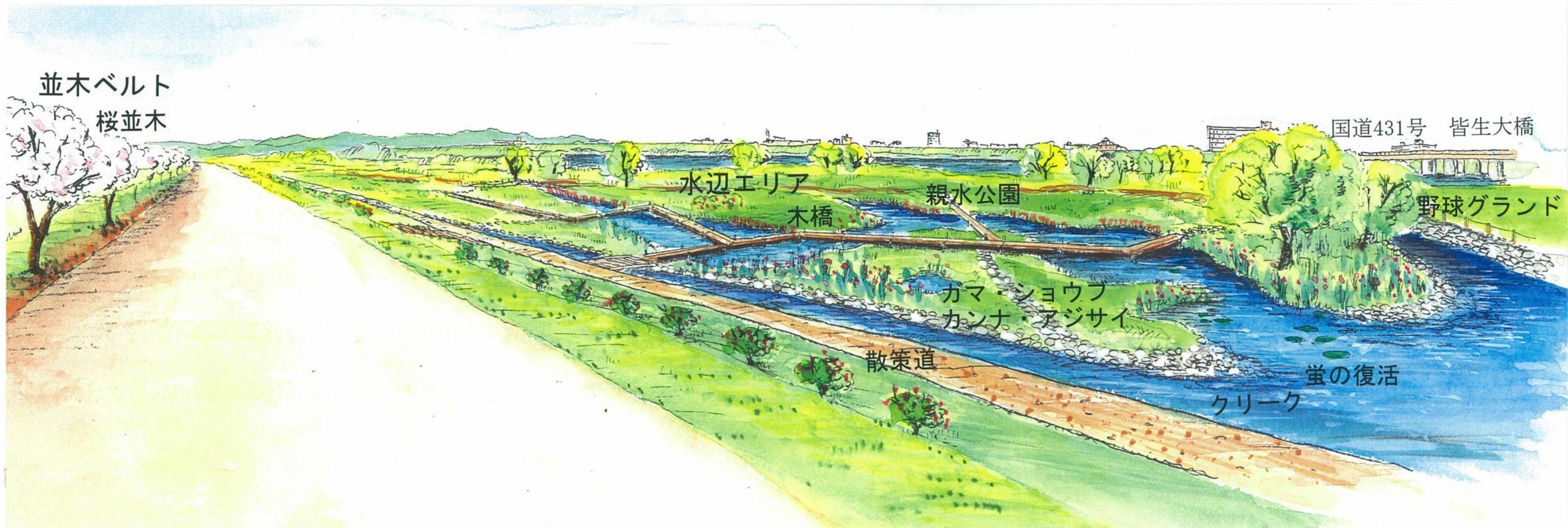


イメージ図

D 国道431号から南方向



現況写真

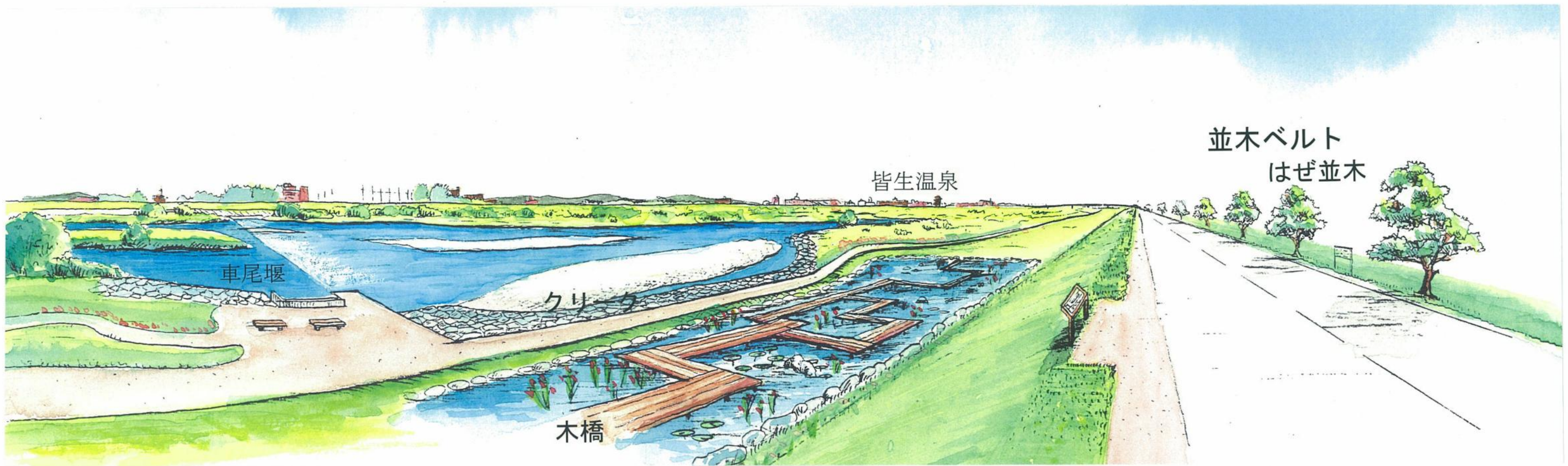


イメージ図

E 車尾堰から北方向



現況写真



イメージ図

小学生からの日野川整備計画案とりまとめ結果
(平成12年度の冬休みの宿題として全校生徒を対象に募集)

- ・河口付近の中州に行く道路をつける。
- ・河口付近の中州に車で観れる映画館をつくる。
- ・多目的グラウンド北にボート乗り場をつくる。
- ・河口付近の中州に子供が遊べる公園をつくる。
- ・堰堤付近に自転車・歩行者が通る道をつける。

- ・河口付近の中州に行くところなど、各中州を結ぶところに錦帯橋のような木造橋を架ける。
- ・河口付近の日吉津側の砂州を撤去しヨットハーバーをつくる。
- ・砂州と中州に魚釣り用の浮き橋を設置する。
- ・河口付近の中州を四季の花公園にする。
- ・ホレコ川と日野川土手の間に施設農業公園をつくる。
- ・皆生大橋付近(米子側)の荒地にショートゴルフコースをつくる。
- ・桜堤付近の中州を野鳥・昆虫公園をつくる。
- ・駐車場の整備

- ・多目的グラウンドの真中に噴水をつくり、周りにはどんぐりの木をうえる。
- ・木の下には、ベンチをつくる。
- ・子供が遊べるように、スベリダイヤブランコをつくる。

- ・河口に橋を架け、名前を「チューリップ橋」にする。
- ・河口付近の中州にスベリダイヤ付のチューリップの形をしたプールをつくる。
- ・プールに魚がいたらいいと思う。

- ・水族館をつくる。
- ・丸合をつくる。
- ・砂場をつくる。
- ・駐車場をつくる。
- ・中州に橋をかける。
- ・レストラン、展望台、公園、広場、老人活動センターをつくる。

- ・多目的グラウンドにナイターをつけて、芝にする。
- ・中州に橋をかけてアスレチックをつくる。
- ・釣堀公園をつくる。
- ・カヌーの小屋をつくる。

- ・うなばら荘～河口の海岸の砂をとって道路にする。
- ・河口の砂州と堤防に橋を架け、砂州をつり場とする。
- ・多目的グラウンドと野球場を自由に使用できるようにする。
- ・桜堤付近の中州を昆虫、野鳥の公園にする。

- ・河口付近・中州に、風車をつけ、風力発電する。
- ・中州に水力発電所をつくる。
- ・河口付近をウインドサーフィンが出来るようにする。
- ・中州に野鳥観測所をつくる。

日吉津村日野川環境整備計画策定委員会名簿

番号	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	日吉津小学校	校長	奥田恵子	小学校
2	日吉津村スポーツ少年団 野球	主将	篠原啓太	小学校
3	日吉津村スポーツ少年団 サッカー	主将	山本直人	小学校
4	イカダレース実行委員会	会長	橋井満義	イベント関係
5	日野川水系漁業協同組合	組合長	井藤 喻	漁業関係
6	鳥取県景観づくり推進員	推進員	中塚英雄	景観関係
7	鳥取県景観づくり推進員	推進員	木村薫代	景観関係
8	日吉津村社会福祉協議会	会長	福間洋一	福祉関係
9	日吉津村自治会長会	会長	藤井二郎	自治会代表
10	日吉津村議会 土木経済常任委員	議員	後藤一行	議会関係
11	日吉津村議会 土木経済常任委員	議員	奥田 章	議会関係
12	日吉津村議会 土木経済常任委員	議長	大下健三	議会関係
13	日吉津村教育委員会	教育長	田中淳郎	教育関係
14	日吉津村住民課	担当	景山美穂	廃棄物担当
15	日吉津村建設課	課長	山西 昇	河川担当
16	日吉津村建設課	担当	福井真一	河川担当

)イカダレース実行委員会の橋井満義さんは、日吉津小学校PTA会長、鳥取県景観形成巡視員、日吉津村議会土木経済常任委員長を兼任。